

令和7年度 第3回大津市地域公共交通活性化協議会

日時：令和7年11月18日(火) 15:00～

場所：大津公民館1階大会議室

1 開 会

- 事務局（会長あいさつ及び配布資料の確認）

2 議題

（1）報告事項

① 第2次大津市地域公共交通計画素案について

- 事務局

（資料について、事務局より説明）

- 委員

2025年までと比べ、今後の生産年齢人口の減少スピードは上がってくる。そのため、高齢者の利用を促進したとしても、現役世代と高齢者では公共交通の利用頻度が異なるため、2024年の利用実績を維持していくことは相当ハードルが高い。

一方で、市の財政負担額も2024年を維持としており、利用者数と財政負担額を両立させることは難しいのではないかと考える。

厳しい決断にはなるが、公共交通の路線で選択と集中をしなければならないかもしれない。それをしないのであれば、予算をあげなければならない。その二者択一を迫られる時期が近い将来出てくると思う。

- 事務局

本日欠席の井上副会長からも指摘があったが、利用者の目標を2024年実績の維持とすること自体が非常に厳しいものと理解している。本日皆さまよりいただいたご意見も踏まえ、目標について検討する。

- 会長

目標を現状維持と設定することは、後ろ向きに捉えられがちだが、高齢化等を考えると厳しいもので、何とか今の水準を維持していきたいという点から設定している。

- 委員

アンケートでは、地域公共交通に対する住民の不満と、本計画素案の取組との間に乖離があるのではないかと。

- 事務局

まず、住民の地域公共交通に対する期待、サービス水準と、現状の地域公共交通との間には乖離がある。今後高齢化が進み、地域公共交通が使いづらくなる中、住

民の皆さまには市内交通事業者が置かれている状況を正確に理解していただき、住民の期待と交通の現状との乖離を埋められるような施策を検討する必要がある。

現状、住民の皆さまには市内交通事業者の状況を理解されていない可能性があることから、まずは丁寧に説明し施策に取り組んでいければと思っている。

○ 会長

住民の方が求められている水準と現状との間にすでに乖離があり、計画素案の目標に現状水準を維持すると設定することも厳しいものであることも、まだまだ知られていない。

そのため、重点施策「イベントやキャンペーンを通じた利用の促進等の実施」においても、地域公共交通の現状を知ってもらい、使っていただくことに舵を切っていけないといけない。地域公共交通の現状は危機的で、使わないとなくなってしまうという意識を伝えていく必要がある。

○ 委員

現在、市内北部でデマンドタクシーを行っているが、長期的に見れば利用者は今後減っていく傾向にあると考えている。

そのような中、大津市はボランティア輸送に対して補助金を交付し、地域公共交通として捉えている。地域の少ない利用者をデマンドタクシーやボランティア輸送で取り合って、競合するのはどうなのかと考える。

○ 事務局

今ある交通事業者の事業と競合するものを市として支援していこうとは考えていない。地域による共助の取組は、地域公共交通を補完する取組であり、競合するものではない。競合する場合、市としてもその旨ご説明することになる。

○ 委員

シェアサイクル等の二次交通の充実について、シェアサイクルを前面に出すと、公共交通の利用者が流れると懸念する。ＪＲ駅にシェアサイクルを設置することで、値段の安さから鉄道からシェアサイクルへ切り替えた話もある。

あと、この項目はＰ. 23 では継続の取組となっているが、Ｐ. 28 では新規の取組となっている。どちらが正しいか。

○ 事務局

Ｐ. 23 と Ｐ. 28 の表記の誤りについては、継続の取組として修正する。

シェアサイクルについて、利用者の行き先や時間帯、年齢等により、移動手段を鉄道、路線バスから切り替える可能性について、改めて認識した。

一方で、鉄道駅からの二次交通の充実により、鉄道自体の利用者数が増えるというご意見もあったことから、影響の度合いを考慮し検討していきたい。

○ 委員

まずは、既存の交通事業者の利用促進や支援を進めていただき、それで難しい場合は、福祉有償運送等に進めていくなど、順番をつけて取り組んでいただきたい。

(2) その他

○ 京阪バス

京阪バスは昭和初期から大津で路線バス事業を営んできたが、令和8年2月28日の運行をもって、大津営業所が担当する大津市の南部地域での路線バス運行を終了する。3月1日からは江若交通が引継ぎ、継続して運行する。

現在、お客様や皆さまに正式にお知らせする準備を進めており、予定では11月20日、もしくは21日にお知らせをしたい。公表方法は、当社ホームページ、バス車内、各停留所でお知らせする。

今まで京阪バスをご利用いただきました大津市の皆さまや関係者の皆さまには大変申し訳ないが、南部地域の路線バス事業を運行する事業者が変更となることについて、ご理解いただきたい。

○ 委員

3月1日以降の路線バスの運行便数、ダイヤはどうなるのか。また、大津比叡平線、京都比叡平線はどうなるのか。

○ 京阪バス

ダイヤについては、江若交通に引き継ぐ段階で変わることがないように進めている。山科営業所が運行する京都比叡平線、大津比叡平線は、引き続き京阪バスが運行する。

○ 委員

本市から申し入れを行っている通り、当該路線バスは多くの方が利用しているため、利用者への説明は丁寧にしていただきたい。

○ 京阪バス

承った。

○ 委員

当該路線バスは、市立中学校の生徒が通学で利用しているため、教育委員会と今後について相談させてもらえるか。

○ 京阪バス

教育委員会へは江若交通とともにご説明に伺いたい。

4 閉会